



創立50周年 おめでとうございます

当協議会は、令和6年度に創立50周年
を迎えることができました。
これに際し、会長及び50周年記念事業
プロジェクト委員からメッセージが寄
せられましたので、紹介します。



横須賀市地域水質保全協議会創立50周年に寄せて



横須賀市地域水質保全協議会 会長
横須賀市副市長 田中 茂

創立50周年おめでとうございます。

当協議会が設立された昭和40年代は、公害問題が社会的にクローズアップされ、水質汚濁防止法、神奈川県公害防止条例など、公害関係法令が次々と制定された時代でありました。横須賀市も工場増加と共に住宅団地の造成も進み、人口の集中することとなり、河川などの汚れも目立つようになりました。このような状況のもと、水環境の改善には関係者一致の協力が不可欠であるということが、協議会設立の契機となりました。令和6年4月現在、市内企業、団体、公共機関の50会員が携わっています。これは、地域全体が一体となって取り組んでいる証であり、こうした地域のつながりが、活動を支えてきた最も大きな要因だと考えています。

この50年間にわたる活動では、市内3河川の水質調査、講演会、施設見学・研修などを通じて、環境保全への意識向上や、良好な水環境の維持のための行動への契機を、提供できたと思っています。

近年、横須賀市地域の水環境は、良好な状態で維持されています。この50周年の節目を迎え、今までを振り返りつつ、環境活動への時代や地域の必要性に応えるために、次の時代に向けて力を合わせて、取り組んで参りましょう。

最後に、改めて50年もの長きにわたり、共に活動し横須賀市の環境を守っていただいた皆さまに心から感謝いたします。

今後も皆さまの変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

50周年記念プロジェクト委員からのメッセージ

横須賀市地域水質保全協議会創立50周年おめでとうございます。

半世紀の長きにわたり協議会活動が継続できたことは大変素晴らしいことであり、これもひとえに、当協議会の歴代会長、事務局長、横須賀市職員の皆様、会員各位のご尽力の賜物と思います。あらためて、協議会を支えてこられた方々に敬意を表したいと思います。

横須賀市は、三浦半島の中心に位置し東京湾、相模湾に面した風光明媚な水環境に恵まれた自然豊かな街です。この豊かな水環境を保全し、未来永劫次世代に引き継いでいくことが当協議会の目的、使命と思います。弊社も横須賀市北端の地にて「青い海と緑豊かな追浜の自然環境を次の世代に繋げよう」を環境スローガンに掲げ、地域の皆様に愛され、信頼される工場を目指して環境保全活動に取り組んでおります。

今後も当協議会の一員として、皆様と共に横須賀の環境保全活動に寄与して参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

日産自動車株式会社 追浜工場
大森 敬司

記念すべき創立50周年を迎えられ、お祝いとお慶びを申し上げます。

私が初めて参加したのが、2005年の「油流出事故対応と危機管理」という講演会だったと記憶していますが、座礁したナホトカ号の重油流出に対応した方の生の意見を聞かせていただき、大変勉強になりました。それから約20年が経過しましたが、更に30年近く前から存続しているという当協議会の歴史に感慨を新たにしております。

さて、50周年記念プロジェクト委員に加わって、2年程活動させていただきました。時間の都合がつかず、欠席させてもらったこともありましたが、当方の突拍子もないアイデアにも、真剣に討議していただいたプロジェクトメンバーには感謝の至りです。50周年記念講演会・展示会当日は、やや雲間は見られたものの天気にも恵まれ、しんかい6500の模型も無事展示することが出来、一安心でした。プロジェクト委員活動については、まだまだ語り尽くせませんが、当協議会の今後の益々の発展を祈念して結びとさせていただきます。

株式会社やまびこ 横須賀事業所
大谷 慎一

横須賀市地域水質保全協議会創立50周年おめでとうございます。

半世紀という長い歴史の中で水質環境調査を続けてこられたのも、横須賀市を中心とした会員企業との協同により諸先輩方がこれまで築き上げてきた成果と心より感謝いたします。

本協議会には8年ほど前から携わっておりますが、地球温暖化問題や河川・海の水質汚染などについて考えさせられるとともに、生物多様性など現代の環境問題についても多くの学びを得ました。横須賀市は山や河川、海などたくさんの自然に恵まれています。こうした横須賀、三浦半島の恵まれた自然環境が多くの環境保護団体や市民ボランティア等の日々の努力によって守られていることに本活動を通じて改めて気付かされました。

私は2年半ほど前に50周年記念プロジェクト委員に任命されてから、記念行事の企画から運営に至るまで何度も話し合い不安もありましたが、展示会や講演会が無事に終了したことに安堵し充実した一日となり良い経験になりました。

今後も水質環境が良好に維持できるよう水質環境調査に努めてまいります。

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
久保 嘉弘

横須賀市地域水質保全協議会創立50周年、誠におめでとうございます。

弊所は協議会の目的に賛同し、2019年に加入しました。皆様に温かく迎えていただき、心より御礼申し上げます。50周年記念プロジェクト委員は、会員としての日は浅いのですが、熱意をもって活動されている協議会のお力になりたくて務めさせていただきました。委員会では、これまでの活動を振り返り、歴代の「恵水」や写真を拝見しながら、当時のエピソードをお伺いしました。永きにわたり、横須賀市の豊かな自然環境を大切に思い、継続して水質保全活動にご尽力されたことを改めて認識することができました。協議会に携わってこられた皆様に敬意を表するとともに、私たちはこの活動を継続し未来に繋げる役割があるということを実感しております。

50周年という節目に、皆様と共に記念行事に関わることができ、大変嬉しく存じます。新たな未来への出発点として、ますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

一般財団法人電力中央研究所 横須賀運営センター
大友 直子

横須賀市地域水質保全協議会創立50周年、おめでとうございます。

横須賀市環境保全課では、生活の基盤となる大気環境や水環境などの生活環境の悪化を未然に防ぎ、良好に維持するための取り組みとして、大気、水、土壌の環境の把握、事業者の皆さまへの働きかけなどを行っています。

50周年記念事業は、令和4年度の総会議決を経て発足したプロジェクト委員会に参画して、委員の皆さまと企画に携わりました。施設研修会では、森林、湿地、干潟、海が連続して残されている関東で唯一の自然環境と言われている小網代の森を散策できたこと、横須賀自然・人文博物館萩原学芸員がデザインされたシマヨシノボリのイラストをもとに思い出に残るエコバックが出来上がったこと、JAMSTEC様のご尽力で「しんかい6500」の模型を借り受け記念展示会の目玉にすることができたなど、協議会全体で記念事業を成功させることができました。本当にありがとうございました。

協議会の今後のさらなる発展を祈念しつつ、結びのご挨拶とさせていただきます。

横須賀市環境部環境保全課

齊藤 学

最初に、今回の当協議会創立50周年記念事業に対して、計画段階からそれぞれの事業遂行に至るまでの、プロジェクト委員の皆様のご協力的なご協力に対し厚く御礼申し上げます。

今から50年前と言えば、戦後の高度経済成長を経て、その負の産物としての公害が社会問題化した時代に当たります。働く・稼ぐことに一生懸命な余り、私達が生きて行く上で大切な「環境」をおさなりにしてきた日本人にツケが回って来たのだと思う。

そんな時代を背景にして、横須賀市地域水質保全協議会は設立されたと推測しています。

それ以来、諸活動の中核として、横須賀市内の3つの河川を中心に水質環境調査を実施しながら、時に東京湾での調査も行ってきました。

今回50周年記念行事の中で、「天神島調査」で初めて海辺の調査を体験し、最近の調査対象が河川に偏っている傾向もあり、今後もっと海に目を向けての活動の必要性を感じました。

この度の50周年を起点に、これからの50年に向けてどのように活動を展開して行くべきなのか、協議会会員の衆知を集めて、より良い自然との調和を目指して、これからも活動を推進して行きたいと考えています。

横須賀市地域水質保全協議会

事務局長 井上 道臣